

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

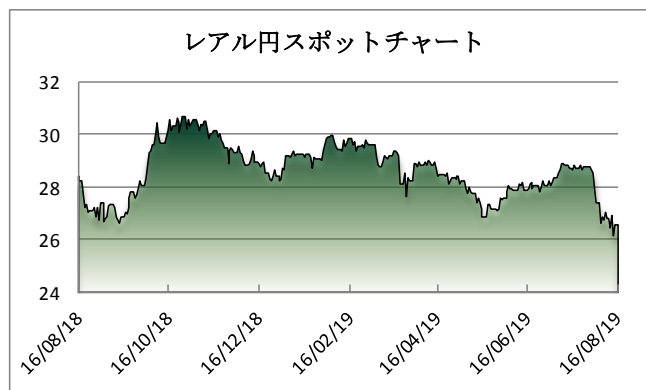
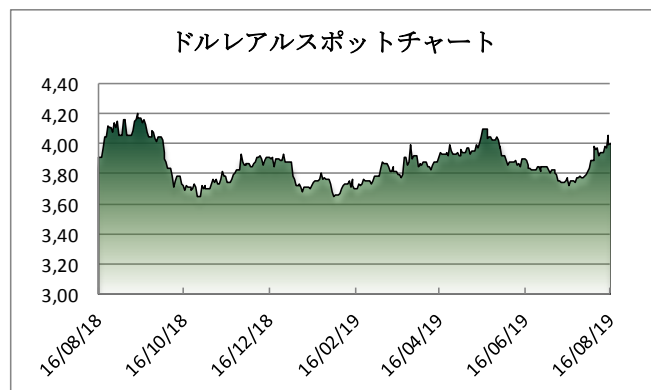
マーケットサマリー

先週金曜日、ドイツ政府がリセッション入りした場合には財政赤字覚悟で対応する用意があると独誌が報じたことで、リスクオフムードが落ち着きドル高が進行。メルケル首相とショルツ財務相は景気低迷により税収が落ち込んだ場合、その穴埋めとして債務を増やすことも厭わないとのこと。レアルに加え、トルコリラやメキシコペソなどの新興国通貨はドル高の影響で総じて通貨安となった。更に午後には大手格付会社の2社がアルゼンチンの信用格付けを既に投機的水準にあった格付から更に引き下げを発表。フィッチは長期発行体格付を「B」から「CCC」とし、S&Pは「B」から「B-」に引下げ見通しをネガティブとしたため、レアルは4.00を超えた。ブラジル中央銀行は15日からスポット市場と先物市場でドルを売買しているが、ここまでのところ為替への影響は僅かしかない。ボベスパ指数も先週一週間、世界の経済成長や貿易戦争、米国経済の後退懸念に加え、アルゼンチンの破綻懸念もあり、100,000ポイントを下回って終えており、下落の流れ歯止めがまだかかっていない。米国市場ではマーケットの関心がジャクソンホールでのシンポジウム(8/22-8/24)でのパウエルFRB議長の講演内容に移っており、週後半にかけて貿易戦争をめぐる話題から遠ざかったことで株式が買われたこともあり、米ドルも週間ベースで主要10通貨の大半に対して上昇した。シンポジウムに先立ち今週はFOMCとECBの議事録要旨も発表される予定であり、今後の金融政策を確認するうえで注目しておきたい。

マーケットデータ

Indicator		Unit	8月15日	8月16日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,9925	4,0059	0,34%	6,27%	3,6374	4,1217
	対円	JPY	26,58	26,55	-0,11%	-7,55%	30,08	26,09
	対ユーロ	BRL	4,4351	4,4430	0,18%	5,15%	4,1646	4,6037
円	対ドル	JPY	106,12	106,38	0,25%	-1,72%	104,87	112,40
	対ユーロ	JPY	117,87	117,96	0,08%	-2,79%	117,52	127,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	99.057	99.806	0,76%	-3,82%	106.650	87.536
CDS Brazil 5yrs		bps	140,90	139,01	-1,34%	8,15%	209,52	124,06
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	7,24	7,17	-0,97%	-2,06%	9,34	7,15
DI Future Jan20 (金利先物)		%	5,47	5,43	-0,82%	-5,24%	6,69	5,42
3 Months US Dollar Libor		%	2,12375	2,13588	0,57%	-7,12%	2,8039	2,1238
CRB Index (国際商品指数)		Index	170,03	170,41	0,22%	-5,37%	189,68	167,38

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。